

第7章 アクティビティに関するガイダンス

以下は、キャンプのアクティビティに参加するにあたり、キャンプ参加者およびスタッフがCOVID-19に感染するリスクを低減するためのガイダンスと手順である。ここで説明するアクティビティは、すべてを網羅しているリストではありません。ここに記載のないアクティビティには、キャンプ参加者やスタッフがCOVID-19に感染するリスクを低減するため、本ガイダンスに基づき最小限の変更を加えることができる。キャンプのアクティビティは、屋内や屋外においても、グループのフィジカル・ディスタンスやアクティビティの対象グループ、また適切な衛生環境を守れる人に限定する必要がある。アクティビティごとに推奨される行動基準については、本文書の最後にある表を参照のこと。

管理

一般的なガイダンス

- ・ キャンプ参加者およびスタッフは、エリア制限のためフィジカル・ディスタンスを保持することが現実的に無理な室内アクティビティでは、布製のマスクを着用する。
- ・ できるだけ屋外でアクティビティを行うことを推奨する。
- ・ スポーツおよび身体を動かすアクティビティを選択する場合、「第3章 感染拡大防止に関するガイダンス」で説明されているように、キャンプ参加者のグループとアクティビティ対象グループを決める必要がある。アクティビティ対象グループは、アクティビティにおいてフィジカル・ディスタンスを保つ必要がある。
 - **最善策**：すべてのアクティビティにおいて、グループを少人数に保ち、このガイドの「**安全性** (56-57ページ)」に記載されているとおりに安全精度を高める必要がある。
- ・ キャンプ参加者とスタッフが適切な手洗いを実践していることを確認する：
 - アクティビティの前後に、20秒間石けんと水で手を洗うようキャンプ参加者に指示する、あるいは、
 - アクティビティの前後に、少なくとも60%のアルコールを含む手指消毒剤を用意する。
- ・ 共有されるすべての備品および器具（例：弓矢、テニスラケット、オール、アート用品）は使用するたびに確実に洗浄および消毒する必要がある。多孔質（布など、通水性のある素材）および非多孔質（石、金属、プラスチックなど通水性のない素材）の備品の洗浄および消毒の手順については、このガイドの「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス」を参照する。
 - 具体的な対策：可能であれば、共有器具は効果的に清掃できるものに限定する必要がある（例：柔らかい多孔質のハンドルではなく、硬い非多孔質のハンドルを持つスポーツ用具が望ましい）。
 - **次善策**：キャンプ期間中は可能であれば、参加者それぞれに各自専用の用具（例：ライフジャケット、アート用品など）を提供して、アクティビティ用の共有備品と用具の数を制限する。

- ・ 可能な場合、スタッフと参加者のグループを固定できるように、アクティビティのスケジュールと計画を検討する。フィールドガイドの「第3章 感染拡大防止に関するガイダンス」を参照する。
- ・ キャンプ参加者は噴水式水飲み場、水差しにおいて使い捨てカップを使用する必要がある。利用グループが変わるたびに、スタッフが蛇口を消毒する必要がある。詰め替えできる自分専用ボトルの使用を推奨する。

ポスター/貼り紙

- ・ アメリカ疾病予防管理センター（CDC）、世界保健機関（WHO）、およびその他健康関連組織のポスターや貼り紙を適切な活動エリアに掲示し、病気の広がりを抑える行動を奨励する：
 - COVID-19情報
 - 手洗い
 - 咳エチケット
 - COVID-19に関連する症状
 - ウイルス拡散の防止
 - フィジカル・ディスタンシング

安全性

一般的な安全性

- ・ キャンプ参加者の安全を守るため、適切なスタッフを確保する。既存のキャンプでの安全手順（例：応急処置、心肺蘇生[CPR]、スタッフとキャンプ参加者との1対1の交流、水泳の「バディシステム」など）などにおいてもフィジカル・ディスタンスを保つ努力を怠ってはならない。
- ・ スタッフが病気の場合、または個人的な理由で帰宅する必要がある場合など、主要なスタッフがいないときには代理になれる資格あるメンバーの名簿を作成する。
- ・ 緊急処置を要する場合、フィジカル・ディスタンスを維持できない場合などでは、通常のキャンプ手順に従い、CDC、国家安全保障会議、およびアメリカ赤十字社の第一対応者および被害者のための指針に従う。^{1,2}

応急処置およびCPR

- ・ アクティビティの途中に応急処置やCPRが必要な場合、州やコミュニティの消防・救急医療機関からの情報や指示考慮し、その手順に従うのが最善である。
 - CDC、EMS臨床医および医療第一対応者向けの推奨事項
 - アメリカ赤十字社、コロナウイルス（COVID-19）：生徒の予防および安全に関する情報

¹ National Safety Council. <https://www.nsc.org/work-safety/safety-topics/coronavirus/interim-cpr-guidelines>

² American Heart Association. <https://cpr.heart.org/en/resources/coronavirus-covid19-resources-for-cpr-training>

- アメリカ心臓協会、CPRトレーニング&蘇生に関するコロナウイルス（COVID-19）の資料およびCOVID-19流行中の医療従事者のための暫定ガイドンス

- すべてのスタッフは、キャンプの運営と安全計画についてトレーニングを受ける必要がある。すべての自動体外式除細動器（AED）、救急キット、および監視所に適切な表示を配置する必要がある。

屋外でのアクティビティ

アクティビティを選択および計画する場合は、上記の「管理」の項の「一般的なガイドンス」を参照のこと。

スポーツおよび射撃アクティビティ

- キャンプ中は、接触の多い器具の共有を制限し、可能であればキャンプ参加者やグループに専用の使用器具を割り当てる。
- すべての屋外器具および施設は、このガイドの「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイドンス」に記載されているガイドラインに従い、定期的に清掃・洗浄する必要がある。
 - 具体的な対策：すべての共有器具（例：弓矢、テニスラケットなど）は、使用後またはプログラム終了直後に洗浄する必要がある。1日の終わりに洗浄および消毒を行う場合、すべてのスポーツおよび射撃器具に対しても実施する必要がある。
 - 次善策：可能なら、キャンププログラムで個人専用の器具をキャンプ参加者に提供する。すべての器具（例：弓矢、テニスラケットなど）は、毎回使用后、直ちに洗浄および消毒する必要がある。1日の終わりに洗浄および消毒を行う場合、すべてのスポーツおよびアクティビティ器具に対しても実施する必要がある。
- 安全手順は、このガイドの「安全性（56-57ページ）」で説明されている調整とともに、標準的な運営手順に従う必要がある。

水遊びと小型ボート

新型コロナウイルス（SARS-CoV2）は、水による媒介はみられていない。COVID-19がプールや遊泳エリアの水を通して人々に拡散する可能性があるという現時点での確証はない。これらの施設の適切な運営と水質保全（塩素や臭素を使う消毒を含む）することによって、水中のウイルスを不活性化することができる。

プール運営

- プールの適切な運営、水質保全・消毒は、COVID-19の原因となるウイルスを不活性化させる可能性がある。このガイドの「第4章 施設管理に関するガイドンス」で説明されている手順を参考に、以下の手順に従い、プールを適切に清掃・洗浄および消毒する：
 - 適切な消毒レベル（100万個の遊離塩素につき1~10個、または3~8ppmの臭

素) およびpH (7.2~8) 、または地域および州の健康ガイドラインに基づく適用基準を保持する。

- 公共プールでの病気や負傷を防ぐための推奨事項については、CDCの「モデルアクアティックヘルスコード」を参照する。また、CDCは「COVID-19流行中公共プール、温水浴場および遊水施設のための提案」を発表している。
- プールの運営とメンテナンスに関する州やコミュニティの基準に従う。

水泳

- ・ キャンプ参加者はグループごとにフィジカル・ディスタンスを保ち、プールやその他屋外の水遊び場（例：湖、池など）に出入りする前後に適切な手の衛生管理を行う必要がある。
- ・ 水泳アクティビティ中は、以下の対策を推奨する：
 - **最善策**：自由遊泳には、水泳のバディシステムのような各参加者が常に一緒にいる「仲間」を割り当てる安全チェックシステムを続ける。割り当てられた仲間が同じ活動グループのメンバーであることを確認する。水泳を安全に行うため、安全訓練に参加する必要がある。
 - **最善策**：往復する場合は、スイミングプールのコース幅を約2.5m間隔に設置し、互いの間隔を維持しながら交代で泳ぐ。
 - **最善策**：参加者の各グループにはキャンプカウンセラーとして毎回同じインストラクターを割り当てる。このガイドの「第3章 感染拡大防止に関するガイダンス」のガイドラインを参照する。
- ・ 安全手順は、このガイドの「**安全性** (56-57ページ)」で説明されている調整された手順、標準的な運営手順に従う必要がある。

小型ボートのアクティビティ

- ・ キャンプ参加者とインストラクターは、小型ボートのアクティビティ（例：カヤック、パドルボードなど）の前後に、フィジカル・ディスタンスと適切な手指の衛生管理手順に従う必要がある。
- ・ **毎回**、グループの参加メンバーを固定するため、アクティビティスケジュールを調整し、各グループに同じインストラクターを割り振ることを検討する。このガイドの「第3章 感染拡大防止に関するガイダンス」の推奨事項に従う。
- ・ 共有および使用済みのすべての備品（例：オール、ライフジャケット、ボート）は、使用するたびに洗浄および消毒する必要がある。清掃用品および器具については、メーカーの指針または業界の推奨事項に従う。³
 - 具体的な対策：アクティビティごとの共有備品および器具の数量を制限する。ライフジャケットは高温の石けん水で手洗いする。アルコール系消毒スプレーをライフジャケットに吹き付け、空気乾燥させる。
 - **次善策**：ライフジャケットは高温の石けん水で手洗いする。乾燥機を使用して、60°Cを超えないように温度設定し完全に乾燥させる。使用前に、ライフ

³Life Jacket Association. COVID-19 Virus: Cleaning & Storing your Life Jackets, <https://www.lifejacketassociation.org/life-jackets/covid-19-virus-cleaning-storing-your-pfd/>

- ジャケットにアルコール系消毒スプレーをかける。
- **最善策**：キャンプ期間中は特定の器具（例：ライフジャケットなど）を参加者それぞれに割り当て、共有する器具の数を減らす。
 - **最善策**：このガイドの「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス」の指示に従い、ボートの通常接触がある箇所を毎使用後、消毒する。ロープやライフジャケットに漂白剤を使用しない。
 - ・ 安全手順は、このガイドの「**安全性**（56-57ページ）」で説明されている調整された手順、標準的な運営手順に従う必要がある。

乗馬アクティビティ

- ・ 乗馬アクティビティの参加者およびスタッフは、フィジカル・ディスタンシングや手洗いに関する適切な手順に従う必要がある（例：アクティビティ前後の手洗いなど）。
- ・ 毎回グループの参加メンバーを固定するためアクティビティスケジュールを調整し、各グループに同じインストラクターを割り当てることを検討する。
- ・ 馬具（サドル、手綱など）はハイド/レザーで作られており、中性洗剤と水を使い、乗り手が交代するごとに適切に洗浄する。ヘルメットは、非多孔質（石、金属、プラスチックなど通水性のない素材）および多孔質（布など、通水性のある素材）に適した洗剤を用い洗浄および消毒する。他のすべての共有および使用済み器具は、使用することに洗浄および消毒する必要がある。このガイドの「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス」を参照すること。
 - 具体的な対策：すべての共有器具（例：馬具、ヘルメットなど）は、使用またはセッション直後に洗浄する必要がある。1日の終わりにすべての馬具とヘルメットを洗浄および消毒する必要がある。
 - **次善策**：各乗り手に、本人専用の乗馬用手袋とヘルメットを用意する。
 - **最善策**：このガイドの「**安全性**（56-57ページ）」に記載されている安全精度を高めながら、グループを少人数サイズにする。

野外アクティビティ

- ・ キャンプ外の人との接触が予想される野外アクティビティは延期または中止すべきである。参加者グループでのグループ旅行は、キャンプ場外のレクリエーションエリアに行く日帰り旅行（例：カヌー旅行、マウンテンバイクなど）に限定する。
 - 具体的な対策：車での旅行に代わる徒歩、自転車、またはその他の方法で移動するアクティビティを検討する。車、ワゴン車、またはバスでの移動する場合は布マスクが使用できるかを確認する。
- ・ キャンプ参加者とインストラクターは、野外活動中フィジカル・ディスタンシングやマスクの着用をする必要がある。
- ・ 野外活動の前後、参加者およびスタッフが手指の衛生管理を実践しているか確認する。清潔な流水が使用できない場合、手指消毒剤が使えるようにしておく。
- ・ グループを少人数にして、毎日同じ参加者メンバーおよびインストラクターを割り当

てるよう検討する。

- ・ すべての共有および使用済み器具（例：地図、双眼鏡、ハイキング用ポールなど）は、適切な方法に従い洗浄および消毒する必要がある。メーカーによるガイドラインおよびこのガイドの「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス」を参照すること。
 - 具体的な対策：アクティビティごとの共有備品および器具の数量を制限する。
- ・ キャンプ期間中、それぞれの参加者に特定の器具を割り振り、共有する備品の数を減らすよう検討する。
- ・ 宿泊やテント使用のキャンプでは、適切なフィジカル・ディスタンスを保つ必要がある。詳しくは、このガイドの「住居（31-33ページ）」の項を参照すること。
- ・ 安全手順は、このガイドの「**安全性**（56-57ページ）」にあるように調整された手順、標準的な運営手順に従う必要がある。

屋内のアクティビティ

アクティビティを選択および計画する場合は、上記の「管理」の項の「一般的なガイダンス」を参照する。

屋内活動における一般的なガイダンス

- ・ 具体的な対策：フィジカル・ディスタンスを保ちながら、スタッフやキャンプ参加者を安全に収容できる十分なスペースを確保する。
- ・ 具体的な対策：スタッフおよびキャンプ参加者が屋内でのアクティビティ中にフィジカル・ディスタンスが保てないとすれば、布製のマスクを着用すべきである。
- ・ 具体的な対策：虫よけ網戸がある窓とドアを使って、最大限に新鮮な空気を取り込む、あるいは自然換気することで、室内の適切な換気が行われていることを確認する。

パフォーマンスアート（スタンツ）

- ・ キャンプ参加者とインストラクターは、パフォーマンスアート（スタンツ）のアクティビティの前後に、推奨されるフィジカル・ディスタンスと手指の衛生管理を適切に実施する必要がある。
- ・ **次善策**：パフォーマンスアート（スタンツ）のアクティビティではグループの参加メンバーを毎回固定するよう計画し、各グループに同じインストラクターを割り当てることを検討する。
 - このガイドの「第3章 感染拡大防止に関するガイダンス」のガイドラインに従う。
- ・ **最善策**：パフォーマンスアート（スタンツ）のアクティビティは、同じグループメンバーおよびインストラクターと実施するよう制限する必要がある。
- ・ すべての共有および使用済み器具（例：小道具など）は、使用するたびに洗浄および消毒する必要がある。このガイドの「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス」を参照すること。

- 具体的な対策：アクティビティごとの共有備品および器具の数量を制限する。
- **最善策**：キャンプ期間中は特定の器具をそれぞれの参加者に割り振り、共有する器具の数量を減らすよう検討する。
- ・ 安全手順は、このガイドの「**安全性**（56-57ページ）」に説明されている調整された手順、標準的な運営手順に従う必要がある。

創造的アートおよびSTEM

- ・ すべて屋内で行う創造的アートおよびSTEM（科学教育プログラム）のアクティビティは、キャンプ参加者グループに対するフィジカル・ディスタンシングの指針および適切な衛生指導に従い実施する必要がある。屋外での実施を考慮する。
 - 具体的な対策：座席の間隔を広げ、フィジカル・ディスタンシングの実施を強調する必要がある。
 - **最善策**：技術/STEMプログラムでは人数を制限し、間隔を広げ、フィジカル・ディスタンシングを取り入れ、スタッフにマスクやフェイスカバーを着用させる必要がある。
- ・ 毎回グループの参加メンバーを同じにするためアクティビティをまとめ、各グループに同じインストラクターを割り振ることを検討する。
- ・ すべての共有および使用済み器具（例：工具、はさみ、筆など）は、使用するたびに洗浄および消毒する必要がある。このガイドの「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス」を参照する。
 - 具体的な対策：アクティビティごとの共有備品および器具の量を制限する。各アクティビティ中の共有を最小限に抑えるため、十分な備品があることを確認する。
 - **最善策**：キャンプ期間中、特定の器具をそれぞれの参加者に割りあて、共有する備品の数を減らす。
- ・ 安全手順は、このガイドの「**安全性**（56-57ページ）」に説明されている調整された手順、標準的な運営手順に従う必要がある。

サイト外への旅行-スタッフの休暇、遠足

パンデミック対策の目的は、対人接触を減らしコロナウイルスに感染する可能性を抑えることである。これはキャンプ場内のスタッフおよびキャンプ参加者がサイト外へ出る機会を制限することを意味する（例：スタッフの休暇など）。キャンプ中、スタッフとキャンプ参加者は敷地内にとどまることを推奨する。スタッフまたはキャンプ参加者がキャンプを離れた場合、このガイドの「第3章 スクリーニングと初期対応に関するガイダンス」にある手順通り、入場前にスクリーニングと検温を実施する必要がある。キャンプ場間の競技会、グループ旅行、都市部への旅行など、すべての集団での遠出は中止することを推奨する。やむなしと考えられる旅行については、このガイドの「第9章 交通に関する検討事項」を参照のこと。また、キャンプ主催者は旅行に関する規制や命令に関し州やコミュニティの保健担当者とは連絡を取ることを勧める。

参照先および資料

American Industrial Hygiene Association. *Reopening: Guidance for General Office Settings*. https://aiha-assets.sfo2.digitaloceanspaces.com/AIHA/resources/Guidance-Documents/Reopening-Guidance-for-General-Office-Settings_GuidanceDocument.pdf

National Safety Council. *First Aid Technical Bulletins*. <https://www.nsc.org/work-safety/safety-topics/coronavirus/interim-cpr-guidelines>

American Heart Association. *Interim Guidance for Life Support for COVID-19*. <https://www.ahajournals.org/doi/pdf/10.1161/CIRCULATIONAHA.120.047463>

National Collegiate Athletic Association. *COVID-19 Advisory Panel Exercise Recommendations*. <http://www.ncaa.org/sport-science-institute/covid-19-advisory-panel-exercise-recommendations>

American Red Cross. *Coronavirus (COVID-19): Prevention & Safety Information for Students*. <https://www.redcross.org/take-a-class/in-the-news/coronavirus-prevention-information-for-students>

アクティビティタイプの具体的な対策、次善策、最善策

アクティビティタイプ	具体的な対策、次善策、最善策
スポーツ & 射撃アクティビティ	<ul style="list-style-type: none"> ● 具体的な対策：すべての共有器具（例：弓矢、テニスラケットなど）は、使用またはフログラム直後に洗浄する必要がある。一日の終わりに洗浄および消毒を行う場合、すべてのスポーツおよび射撃器具に対しても実施する必要がある。 ● 次善策：可能な限り、キャンパ側で個人専用器具を参加者に用意する。すべての器具（例：弓矢、テニスラケットなど）は、毎回使用後直ちに洗浄および消毒する必要がある。一日の終わりに洗浄および消毒を行う場合、すべてのスポーツおよび射撃器具に対しても実施する必要がある。 ● 最善策：自由遊泳では、水泳のバテイスシステムのように参加者に常に一緒にいる「仲間」を割り当てよう。水泳の安全ルールを用いる。
水泳	<ul style="list-style-type: none"> ● 最善策：運動競技の場合、スイミングプールの約2.5mのコース幅を保ち、交代で泳ぐことで泳者同士の間隔を維持する。 ● 最善策：各グループにはキャンパカウンターとして、毎回同じインストラクターを割り当てる。このガイドの「第3章 感染拡大防止に関するガイド」を参照すること。
小型ボートのアクティビティ	<ul style="list-style-type: none"> ● 具体的な対策：アクティビティごとの共有備品および器具の数を制限する。ライフジャケットは高温の石けん水で手洗する。アルコール系消毒スプレーをライフジャケットに吹き付け、空気乾燥させる。 ● 次善策：ライフジャケットは高温の石けん水で手洗する。乾燥機を使用し、60°Cを超えない温度設定で完全に乾燥させる。使用前にアルコール系消毒スプレーをライフジャケットに吹き付ける。 ● 最善策：キャンパ期間中は特定の用具（例：ライフジャケットなど）を参加者それぞれに割り振り、共有する器具の数を減らす。 ● 最善策：一般的に接触されるボートの表面は、使用するたびに洗浄および消毒する必要がある。ヌーカ一の指示およびこのガイドの「第6章 清掃・洗浄」および消毒に関するガイドの指示に従うこと。ロープやライフジャケットに漂白剤を使用しない。
乗馬アクティビティ	<ul style="list-style-type: none"> ● 具体的な対策：すべての共有器具（例：馬具、ヘルメットなど）は、使用またはセッション直後に洗浄する必要がある。一日の終わりにすべての馬具とヘルメットを洗浄および消毒する必要がある。 ● 次善策：乗り手ごとに、本人専用の乗馬用手袋とヘルメットを用意する。 ● 最善策：このガイドの「安全性（56-57ページ）」に記載されている安全精度を高めながら、グループを小規模に保つ。 ● 具体的な対策：徒歩、自転車、またはその他の方法で移動する、車での旅行にとって代わるアクティビティを検討する。車、ワゴン車、またはバスの移動中は、全員が布マスクを使用できるように確認する。
野外アクティビティ	<ul style="list-style-type: none"> ● 具体的な対策：アクティビティごとの共有備品および器具の数を制限する。 ● 次善策：毎回グループの参加メンバーを同じにするよう。パノオースクスアート（スタンプ）のアクティビティを計画し、各グループに同じインストラクターを割り振ることを検討する。このガイドの「第3章 感染拡大防止に関するガイド」に従うこと。 ● 最善策：パノオースクスアート（スタンプ）のアクティビティは、決められたグループが同じグループおよびインストラクターと行うよう限定する必要がある。
パノオースクスアート（スタンプ）	<ul style="list-style-type: none"> ● 具体的な対策：アクティビティごとの共有備品および器具の数を制限する。 ● 最善策：キャンパ期間中は特定の器具をそれぞれに割り振り、共有する器具の数を減らすよう検討する。 ● 具体的な対策：座席の間隔を広げ、フェジカル・ディスタンスングの実施を推奨する必要がある。 ● 最善策：技術/STEMプログラムでは人数を制限し、間隔を広げフェジカル・ディスタンスングを取り入れ、スタッフにマスクやフェイスカバーを着用させる必要がある。
創造的アートおよびSTEM	<ul style="list-style-type: none"> ● 具体的な対策：アクティビティごとの共有備品および器具の数を制限する。 ● 各アクティビティ中の共有を最小限に抑えるため、十分な備品があることを確認する。 ● 最善策：キャンパ期間中、特定の器具をそれぞれに割り振り、共有する備品の数を減らす。